

地域おこし協力隊通信



隊員報告

いわさき ちえ
岩崎 智恵

江府町の恵みを生かした特産品づくり

江府町に移住してきて、ようやく3ヶ月と少し経ちました。自然豊かにあふれる環境での暮らしはとても心が安らぎ想像力も湧いてきて、充実感のある日々を過ごさせてもらっています。

8月17日の江尾十七夜には初めての参加でしたが、本部でグッズの陳列や販売などのお手伝いをさせてもらいつつ楽しませてもらいました。来年は是非、こだいち踊りにも参加してみたいなと思っています。

この3ヶ月間ほどの活動としては、季節的なこともあり、他地域へのイベントなどに出席しています。主には柿原集落の竹炭や奥大

山の水、クロモジを使った飲み物などの販売です。その他にも移住相談窓口として「奥大山暮らす旅宿企画」と題してのPR活動なども行なっています。都会からいきなり移住となると、知らない土地



▲イベント出店の様子

への不安などを持たれる方も多いかと思えます。このような人たちのために「旅するように暮らす」また、暮らすように旅をする」ような感覚で気軽に利用して頂けるようなゲストハウスやお試し居住宅があれば理想的だと思っています。ご協力いただける方いらっしゃれば是非お気軽にお声かけて頂けると嬉しいです。

その他は、かねてよりやりたかった環境保全活動としての竹林整備を柿原集落の一部をお借りして、再生竹林のモデル化にも取り組みだしました。ゆくゆくは、りっぱな竹林にして、地域の方と一緒にさらなる竹の有効活用にも取り組みたいと思っています。地域資源をいかしたもので、特に山の恵みである竹やク



▲柿原集落で竹林整備

ロモジなど、エコロジカルで環境にも優しい取り組みで、町の財産にもなるような名産品や工房をつくることを夢に今後も様々な活動や実験にチャレンジしていきたいと思っています。

まずは、私が江府町に来てすぐに大変魅力を感じた植物「クロモジ」の研究を重ね、来年には様々な特産品を産み出していききたいとも思っていますので、どうぞ応援よろしくお願いします。



▲クロモジはこんな葉っぱをしています



▲クロモジの蒸留水をつくっています